

2019年6月6日

RPAを利用した業務効率化の取組み開始 作業時間を約40%削減

SOMPOヘルスサポート株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：角 秀洋、以下「SOMPOヘルスサポート」）は、顧客から受領する健診データ等の処理業務の一部にRPA*を導入することで、作業時間の効率化を図る取組みを開始しています。

* Robotic Process Automation の略。メールやエクセル、基幹システム等を利用した事務作業を、人間がPC端末を操作するとおりに操作するソフトウェア

1. 導入の目的

これまで人間のみが対応可能とされていた作業を代替する技術であるRPAが業務の自動化による効率化を実現する手段の一つとして注目されています。

SOMPOヘルスサポートは、保健指導サービスを受託している顧客から対象者約18万人の個人データや健診データを受領しています。これらのデータを受領する際の業務を自動化することで、業務効率化および時間創出を図り、お客様へ付加価値の高い健康に資するサービスの提供に努めてまいります。

2. RPA導入の概要

(1) 対象業務

第一弾として、顧客からのデータ受領業務を対象に導入します。

- ・ 受領データコピーの自動化
- ・ 顧客および社内の関連部署へデータ受領確認のメール送信を自動化 など

(2) 導入効果

① 品質向上

- ・ データコピーとメール送信の自動化による情報セキュリティの強化

② 働き方改革

- ・ RPA導入により効率化される業務時間の有効活用
（対象業務の作業時間を約40%削減）

③ 従業員の健康増進

- ・ センシティブ情報を含む確認作業の削減によりオペレーターの心理的負担を軽減

3. 今後の展開

RPAやAIをはじめとするデジタル技術の導入拡大により、サービスの品質と生産性の向上を図ります。業務効率化により生み出される時間を活用し、より多くのお客さまの「健康」に資するサービスの提供と更なる業務改革を進めます。

以上